

団体名：**一般社団法人 伶楽舎**

プロジェクト名：**伶楽舎・子どものための雅楽プロジェクト**

(平成27年度から平成29年度までの3年間の長期助成プロジェクト)

雅楽をもっと身近に ——
雅楽の未来を育むために取り組んだ
『伶楽舎・子どものための雅楽プロジェクト』



©竹原伸治



教材 DVD



教材 CD

活動報告者

宮田まゆみ(伶楽舎 音楽監督)

宮丸直子(伶楽舎)

中村仁美(伶楽舎)

尚 紀子(東京コンサーツ)

◆本プロジェクトは、平安時代から千年以上にわたって継承されてきた雅楽が今後も長く発展し引き継がれていくために、雅楽を広く一般に知ってもらうことを目指して実施されました。子どもたちが直に雅楽の楽器に触れることができる演奏会の開催や、初心者の方でも雅楽に親しみを感じてもらえる新作雅楽曲の創作、学校の音楽の授業でも活用できるCDとDVDの作成といった複数の活動で構成されていました。

◆プロジェクト全体を振り返って、一般の方にも伝統芸能を身近に感じてもらうためにどのような取り組みが有効で、何が課題となっているのか。今後の展開などについてお話を伺います。

2021(令和3)年12月7日(火) 19:00~21:00 18:45受付開始

会場：**アーツカウンシル東京 会議室**

千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス8階 (駐車場・駐輪場はありません。)

入場無料 要予約/定員30名

【お申し込み方法】

下記のメールアドレス宛に、ご氏名/ご所属・職業/人数/当日連絡可能な電話番号/Eメールアドレス/手話通訳の要否★、以上を明記の上お申込みください。 *申込締切：2021(令和3)年12月3日(金)正午まで

★手話通訳をご希望の方は、11月26日(金)17:00までにお申し込みください。

E-Mail: forum-grant@artscouncil-tokyo.jp

【お問い合わせ】アーツカウンシル東京 企画室 企画助成課 TEL:03-6256-8431(10:00~18:00 土日祝日を除く)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【登壇者プロフィール】

一般社団法人 伶楽舎

1985年に芝祐靖（初代音楽監督）が創設した雅楽演奏団体。発足以来、現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開している。特に、現代作曲家への委嘱作品や古典雅楽様式の新作の初演には力を入れ、年2回のペースで開催している自主演奏会で度々発表している。他に、解説を交えた親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及にも努める。また、文化庁「文化芸術による子供の育成事業」他、小中高校生を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなどの教育プログラムも多く行っている。令和2年（2020年）「第50回 ENEOS 音楽賞邦楽部門」受賞。



宮田まゆみ（みやた まゆみ）

国立音楽大学卒業後、雅楽を学ぶ。1983年に笙のリサイタルを開催して注目を集める。古典雅楽の他に現代音楽にも積極的に取り組み、世界的な活動を展開している。国立音楽大学招聘教授。2018年紫綬褒章。雅楽演奏団体「伶楽舎」音楽監督。



宮丸直子（みやまる なおこ）

東京藝術大学音楽学部、同大学院修士課程（音楽学専攻）修了。雅楽を芝祐靖に師事。雅楽演奏団体「伶楽舎」に1985年の創立時から参加。国内外の演奏会、音楽祭等に出演。共著『図説 雅楽入門事典』（柏書房）



中村仁美（なかむら ひとみ）

東京藝術大学修了。箏、楽箏、左舞、古代歌謡等を芝祐靖・大窪永夫・上明彦・豊英秋などに学ぶ。1986年から「伶楽舎」に参加。古典雅楽から現代音楽まで、独奏楽器としての箏の魅力を開拓する活動を展開。国立音楽大学、沖縄県立芸術大学非常勤講師。

Photo by Itj



尚 紀子（しょう のりこ）

音楽事務所、株式会社東京コンサーツ・代表取締役社長。所属演奏団体「伶楽舎」のマネジメントを担当（コンサート、全国各地の小・中学校での雅楽普及公演の企画制作）。